

新型コロナウイルス危機 行動指針

当協会は、大阪大学と手を携えて、今年で 72年の歴史を数えました。そう言った長い歴史の中で、初めて迎える、新型コロナウイルスの感染拡大という大事件に遭遇いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大は、日本はもとより世界の経済・社会活動に大きな影響を及ぼし、不確かな情報の拡散は人々の不安を掻き立てています。今こそ一般社団法人生産技術振興協会は、インターネットの利点も生かし、次の 5 つの柱を軸に、活動を強化して参ります。

1. モノづくりに関する科学技術情報を迅速、かつ丁寧に伝えます

会員相互のネットワークとこれまでの出版活動で蓄積したモノづくりに関する専門的ノウハウを最大限に活用し、最新の科学技術情報を迅速、かつ丁寧に発信します。

1. 経済活動への影響の軽減のため、モノづくり企業へ政府や行政が支援する情報を伝達します

企業・自治体のモノづくり企業への支援策などを登録会員にきめ細かくお届けして、経済・社会活動への影響の軽減に貢献し、中堅・中小企業の支援政策に関する情報の格差を防ぎます。

1. 学びの機会を増やして、幅広いモノづくり企業の“技術の学び”に貢献します

WEBサイト「一般社団法人生産技術振興協会のHP」や ZOOM セミナーなどで、学びの機会を増やししながら新しいセミナーの開催や非接触的な交流を促します。

1. 非接触的な交流を促し、社会的不安の軽減に貢献します

困難な時期だからこそ、心を豊かにし、会員間に人と人のつながりを感じさせるような、フレンドシップを醸成し、政府の指針に従い、徐々に Face to Face の交流拡大により社会的不安の軽減と共生社会の実現に貢献します。

1. 他団体とのジョイント ZOOM セミナーなどで正しい医療情報を発信し、感染拡大防止に貢献します

公益社団法人日本 WHO 協会など、友好団体と協働で国内の医療情報を、成果や課題も含めて ZOOM セミナーなどで正しく発信するとともに、医療従事者を応援しよう！、「医療従事者の家族に差別をなくそう！」運動を推進し、連帯の動きを共有し、感染拡大防止に貢献します。

以上